

2024年9月18日 第50期 No. 6-575

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

9月も半ばを過ぎましたが、今年の夏は猛暑酷暑が続いて、まだ秋の気配が見えていません。皆様お元気でしょうか？

我孫子市は毎年市長、教育長も一緒に、広島や長崎の平和祈念式に中学生を派遣しています。そして、8月に市民へ向けて報告会を開き、12月にはより詳しくふれあいホールで報告をしています。

平和に関して取組んでいる団体が、「我孫子市平和事業市民会議」を作り、我孫子市の平和事業を運営しています。我孫子市消費者の会からも委員を出し、3～4年は続けてもらっています。今は会員の見城千佳子さんが委員になり、今年で4年目です。広島の記念式典に同行されたので、報告を、会宛に書いていただきました。お読みください。

派遣中学生に同行して

8月5日、広島の天気予報は晴れ、7時5分、我孫子のけやきプラザ前に派遣生が揃いました。今年は各校から3名ずつの参加者を募り、男子6名、女子10人が参加。引率者は市長、教育長、市民会議委員の大学生3名、市職員3名、他同行者として、教育委員2名、中央学院大学副学長の川久保先生、総勢29名です。私は、新幹線の中で、事前に連絡を取っていた、柏市被爆者の会の山元さんに会い、我孫子の皆さんに紹介しました。山本さんは「市長さんも一緒に凄いわね」と。柏市の派遣生とは、式典後一時間後に合流とのこと。

広島に到着して、平和記念講演やその周辺の施設やモニュメントを見学しました。覚悟はしていましたが、やはり暑い、炎暑、猛暑です。

歩いているうちにびしょりと汗をかいた衣服もすぐに乾いてしまいます。「あの日」も暑かった。広島の街にいて「あの日」感じることを意味を思っています。

4時から被曝体験者佐渡育子さんのお話をお聞きしました。上流川町の国民学校2年生の時に、両親、妹と被曝。妹の無惨な死を話すのは、今でも辛いと。祖母いとも3人も死亡。

戦後は食料がなく、鉄道草も食べて飢えを凌いだことを語っていただきました。全員が、真剣なまなざしで聴いていました。

夕食はみんなお腹ぺこぺこ、市議会議長さんも合流して、たちまち楽しい交流の場になりました。生徒は学校の柵を越えてすっかり打ち解けています。

6日はホテルロビー集合が5時45分。起床できるか生徒の一番の心配事です。全員揃い広電に乗って平和記念公園に。厳粛な雰囲気の中、粛々と式典が進みます。8時15分に遺族代表が「平和の鐘」衝き参列者全員で1分間の黙祷。派遣生はこの厳かな雰囲気をしっかり感じたはずです。

松井市長の「平和宣言」は「核戦力の評価が必要だ」という考え方をどう思うか」と参列者に問いかけます。国連事務次長の中満泉さんの代読は「今日こそ覚悟の日」と力強く。式典の間中、蝉時雨が止むことなく。

千羽鶴奉納の後は派遣生が主体的に活動する、来園者へのインタビューです。班ごとに活動し、外国の若者にも声を掛けていました。その後、平和記念資料館の見学。シニアはアオギリの前の喫茶室で休憩。私は10年前に参加した折、この場所で日本の学生や外国の若者が語り合っ

いたので声を掛けました。日本、パレスチナ、イスラエルの学生が語り合う「学生会議」とのこと。今も活動が続いているようです。

広島市を一望できるおりづるタワー、さらに記念公園周辺の見学後、広島城の見学。石垣の中に壕が掘られていて、軍司令部の通信室跡。一人で立って歩くのがやっとの暗い暗室。動員女学生も働いていたと。改めて広島が軍都であったことを知らされました。さらに歩いて文化センターへ。派遣生は今までを振り返り、それぞれが語り、班でまとめて発表します。派遣生の発表に引率者の三人の女子大学生のアドバイスも適格ですばらしい。明日見学予定の本川小学校の卒業生が、我孫子に在住されていることを紹介しました。お腹ぺこぺこでやっとな夕食。共に炎天下2万歩を歩いて、派遣生はまだまだ元気。

7日は比治山下にある多門院の見学。あの日被災した人々は比治山へ比治山と逃れた。多門院の精舎は、爆風により横木に大きな裂傷を受け、そのままの姿を残しています。今も8時に鎮魂の鐘が撞かれています。

広電で平和記念資料館の2回目の見学。最後は本川小学校平和記念資料館の見学。パノラマ台の前で、生徒は先ほどの多門院の位置を確かめていました。この頃には、さすがに派遣生に疲れの色が。

すべての日程を終え、全員無事に新幹線で一路我孫子へ。午後8時20分にけやきプラザ前に到着。先輩、校長先生、などの出迎えを受け、たくましい面差し元気に答えていました。体験しやり遂げた彼らの顔つき、派遣生たちがこれからどう変身していくのかがとても楽しみです。身近に見続けられことは嬉しい体験でした。今年は、厳重な警備体制がとられていて、予約券のある人も搭乗並み。ボディチェックや飲み物は飲んでみせる等。また、公園の中では、市民の方々が自分のスタイルで平和活動をしているのが印象的でした。 見城千佳子

10月定例会

10月7日(月) 13時30分～16時

我孫子南近隣センター 8階 調理室

末廣牧場見学の報告他

11月定例会

11月5日(火) 13時30分～16時

我孫子南近隣センター 8階 調理室

村 千鶴子さん講演会(11月16日)

の役割分担他

第39回 高齢社会への対応を探る会

日時：10月19日(土) 13:30～15:40

会場：ふれあいホール(けやきプラザ2階)

内容：「これからの在宅医療・福祉連携の在り方」

あびこ診療所 所長 今川 篤子さん

「高齢者を支える地域の連携」

湖北・湖北台高齢者なんでも相談室室長

星 良子 さん

チラシと一緒に配布しました。どうぞ足をお運びください。

プラスチックで包んだ肥料

身近なのに知らない事たくさんあるものだと17日の朝日新聞18面を読んで思いました。

プラスチックの殻で包んだ肥料があるそうです。溶けだす時期が違う肥料を田植の時に1回まいておけば稲の生育に合わせて適切な時期に必要な栄養を与えられるので農家はとても楽になるというものです。問題は、肥料が溶けだした後にプラスチックの殻が水田に残ったり、流れ出したりするという事だそうです。

これは、回収がしにくいマイクロプラスチックですね。水田の土の中にもたまります。詳細は裏面の記事をお読みください。困った～(K)



17日は中秋の名月でした。ご覧になりましたか？
きれいでしたね～！！
きっと今日もきれいですよ。